

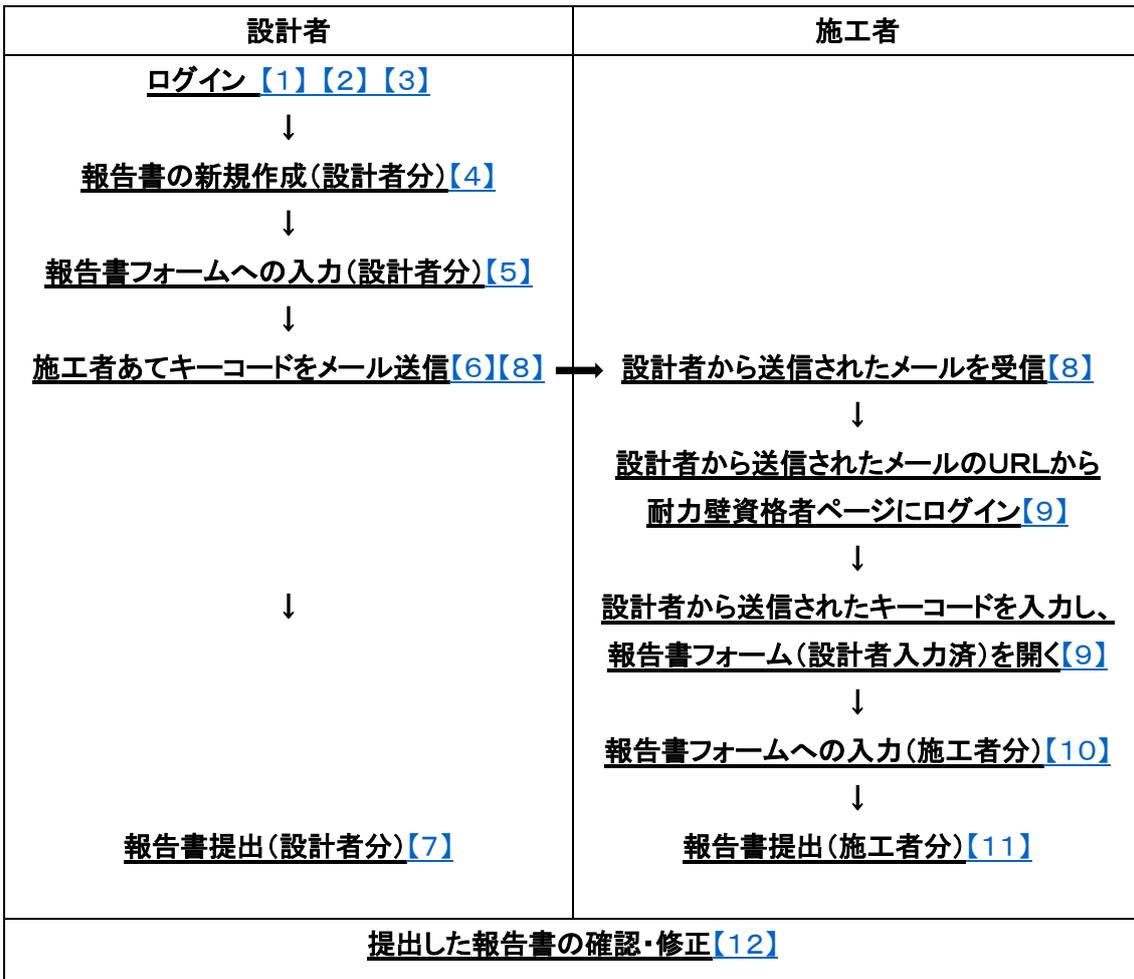
## 構造用合板張耐震補強壁 実績報告書作成のご案内

実績報告書は、当該技術の使用実績を把握するため、日合連においてとりまとめるよう、技術評価更新時(2019(令和元)年12月2日)に、日本建築防災協会から指導を受けたものです。

2019(令和元)年12月2日以降に設計・施工された物件につきましては、工事完了後1か月以内に日合連あてご提出願います。

### 報告書作成の大まかな流れ

- ・実績報告書は、物件ごとに、「設計者」「施工者」の両方で、耐力壁資格制度 Web サイトの報告書フォームに入力して頂きます。
- ・「設計者」「施工者」の両者が同一の報告書フォームに入力するために、キーコードを介して当該報告書フォームを「設計者」「施工者」のそれぞれに関連付けます。
- ・以下に、先に「設計者」が報告書フォームに入力し、次に「施工者」が入力する手順を示します。(「施工者」→「設計者」の順で入力することも可能です)



**【1】ログイン** (①、②のどちらからでも**【2】**へ。)

① 日合連 Web サイト トップページ

<https://www.jpma.jp/>

構造用合板張り耐力壁 日合連登録・大臣認定



② 耐力壁資格制度 Web サイト トップページ

<https://www.bearingwall.jp/>



Copyright © 2021 耐力壁 All rights reserved.

## 【2】耐力壁資格者ページ ログイン

<https://www.bearingwall.jp/member/login>

- 報告書フォームは、物件ごとに、「設計者」「施工者」の両者で入力。「設計者」「施工者」それぞれで入力箇所が異なる。⇒【4-1】報告書作成の手順を参照。
- 以下、先に「設計者」が報告書を入力し、次に「施工者」が入力する手順で説明。  
(「施工者」→「設計者」の順で入力することも可能)
- 種別選択 「設計者」を選択。
- 会員登録時のメールアドレス、パスワードを入力
- 「ログイン」をクリック。⇒【3】へ。

## 【3】耐力壁資格者ページへ遷移

- 「実績報告書」をクリック ⇒【4】へ。

## 【4】報告書の新規作成

- 報告書作成の手順の説明は「報告書作成の手順をクリック」⇒【4-1】へ。
- 報告書を作成するには、「新規作成をクリック」⇒【5】へ。

The screenshot shows the '耐力壁資格者ページ' (Reinforced Wall Qualification Page) with a blue header and a white main area. A red box highlights the '新規作成' (New Creation) button in the top right. A red arrow points from this button to the label '【5】'. Another red box highlights the '報告書作成の手順' (Report Creation Procedure) link in the middle left. A red arrow points from this link to the label '【4-1】'.

## 【4-1】報告書作成の手順

The screenshot shows the '報告書作成の手順' (Report Creation Procedure) page. It contains two main sections: 'キーコードがない場合（新規作成する場合）' (When there is no key code (new creation case)) and 'キーコードがある場合' (When there is a key code). Each section has a list of steps and instructions. The '新規作成' (New Creation) button is highlighted in blue in the first step of the first section. The 'キーコードを送信' (Send Key Code) button is highlighted in green in the second step of the first section. The '提出' (Submit) button is highlighted in orange in the third step of the first section. The '下書き保存' (Save Draft) button is highlighted in blue in the fourth step of the first section. The 'キーコードを開く' (Open Key Code) button is highlighted in green in the first step of the second section. The '提出' (Submit) button is highlighted in orange in the second step of the second section. The '下書き保存' (Save Draft) button is highlighted in blue in the third step of the second section. The 'ご注意' (Notice) section at the bottom provides additional information and an example of the login process.

### 報告書作成の手順

キーコードがない場合（新規作成する場合）

1. 上記の **新規作成** ボタンから報告書を開きます。
2. 報告書のうち、自分が入力すべき箇所を入力し、ページ下部にある **キーコードを送信** ボタンをクリック。パートナーとなる報告者へキーコードを送ります。
3. 報告書のうち、自分が入力すべき箇所の入力が全て終わり、問題がなければ **提出** ボタンをクリックして日合連へ報告書を提出します。提出する前に入力を中断する場合は、**下書き保存** ボタンを使って入力内容を保存してください。

キーコードがある場合

1. パートナー報告者から届いたメールに記載されている20桁のキーコードを、上記のキーコード欄に入力し、**キーコードを開く** ボタンから報告書を開きます。
2. 報告書のうち、自分が入力すべき箇所（パートナーの既入力箇所以外の箇所）の入力が全て終わり、問題がなければ **提出** ボタンをクリックして日合連へ報告書を提出します。提出する前に入力を中断する場合は、**下書き保存** ボタンを使って入力内容を保存してください。

### ご注意

設計者と施工者が同一の場合、キーコード送信後にログアウトし、改めて「[耐力壁資格管理] 実績報告書 作成のお願い」メール受信者としての立場でログインしてください。 例：設計者としてキーコード送信 → ログアウト → 施工者としてログインし、キーコード入力

**【5】報告書フォームへの入力 《「設計者」の画面》**

ログアウト

**耐力壁資格者ページ**

HOME 実績報告書

実績報告書 一覧 実績報告書 詳細

実績報告書 詳細 (設計者用)

管理番号	自動入力	提出年月日	自動入力
工事請負契約日	年月日	工事竣工日 (工事完了日)	年月日
工事名称	工事名称		
所在地	所在地市		
	市区町村以下	丁目以下 (例: 1-2-3)	
設計者氏名	日合連・設計者テスト	会社名	日本合板工業組合連合会
		日合連登録番号	BW ●●●● ⇒自動入力
施工者氏名		会社名	
		日合連登録番号	

設計者  
入力箇所

⇒自動入力

1、設計者用チェック項目

検査項目	チェック
① 設計者の条件を満たしている (所定の講習会を受講した建築士、かつ日合連登録者)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
② 適用条件 (建物種類、階数、面積など) の範囲内の建物である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
③ 事前調査を入念に行い、補強する部分の周囲には部材の劣化がないことを確認した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 劣化有
→ ③で事前調査時に劣化が発見された場合には、適切に補修・交換等を指示した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
④ 補強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑤ 他の耐震補強壁等と併用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 該当無
⑥ H12建告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をしよう設計した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
→ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑦ 基礎は、基礎I又は基礎IIに相当する仕様である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑧ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎IIに相当する仕様である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 該当無

補足・連絡事項

設計者  
入力箇所

2、施工者用チェック項目

検査項目	チェック
① 施工者の条件を満たしている（経験のある大工又は工務店社員、かつ日合連登録者）	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
② 事前調査時に劣化が認められた部位は、設計図書に従い適切に補修・交換等を実施した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
③ 施工時に新たな劣化部位を発見した場合は、設計者に連絡し、適切に補修等を実施した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
④ 補強に用いる構造用合板には、日本合板工業組合連合会傘下会社のJAS印が印字されている	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑤ 補強に用いる構造用合板の厚さは、12mmまたは24mmである	<input type="radio"/> 12mm <input type="radio"/> 24mm <input type="radio"/> その他
⑥ 構造用合板を留め付けるくぎは、JIS A5508に規定するCNくぎである	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑦ 受材、添え柱、胴つなぎ材など、補強に用いる木材は設計図書通りの寸法、本数である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑧ 受材、添え柱、胴つなぎ材などを留め付けるくぎは、JIS A5508に規定するNくぎである	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑨ 柱頭柱脚仕口接合部に用いる金物は、設計図書通りの規格、個数である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑩ 補強壁は、設計図書通りの仕様で、構造用合板、受材等、金物等を適切に施工した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
補足・連絡事項	<div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>

3、使用した補強壁の仕様（使用した補強壁の仕様ごとに、その概算の長さ（m）を記入してください）

補強壁の仕様	長さ（m）	補強壁の仕様	長さ（m）
① 合板12mm上下開口壁、両側柱大壁仕様	<input type="text"/> m	⑪ 合板12mm無開口壁、大壁仕様	<input type="text"/> m
② 合板12mm上下開口壁、両側柱真壁仕様	<input type="text"/> m	⑫ 合板12mm無開口壁、入隈大壁仕様	<input type="text"/> m
③ 合板12mm上下開口壁、間柱補強大壁仕様	<input type="text"/> m	⑬ 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	<input type="text"/> m
④ 合板12mm上下開口壁、間柱補強真壁仕様	<input type="text"/> m	⑭ 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	<input type="text"/> m
⑤ 合板12mm上下開口壁、柱間隔2P大壁仕様	<input type="text"/> m	⑮ 合板24mm無開口壁、大壁仕様	<input type="text"/> m
⑥ 合板12mm上下開口壁、柱間隔2P真壁仕様	<input type="text"/> m	⑯ 合板24mm無開口壁、入隈大壁仕様	<input type="text"/> m
⑦ 合板12mm上下開口壁、後施工柱大壁仕様	<input type="text"/> m	⑰ 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	<input type="text"/> m
⑧ 合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様1	<input type="text"/> m	⑱ 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	<input type="text"/> m
⑨ 合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様2	<input type="text"/> m		
⑩ 合板12mm上下開口壁、入隈大壁仕様	<input type="text"/> m		

設計者  
入力箇所

● 報告書フォームのうち、「設計者」が入力すべき箇所を入力し、ページ下部にある「キーコード送信」ボタンをクリック。パートナーとなる報告者（「施工者」）へキーコードを送る。⇒【6】へ。

#### 4、画像添付

① 施工箇所の写真 及び ② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真を添付願います。  
※添付する画像のファイル名は、アップロード後に自動変換されます。拡張子は .jpg .png .pdf がアップロード可能。

添付項目	画像添付
① 施工箇所の写真	<a href="#">アップロード</a>
② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真	<a href="#">アップロード</a>



© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

### 【6】キーコード送信

- 「キーコード送信」ボタンをクリックすると以下のポップアップ画面が表示。
- 「送信先メールアドレス」欄に、パートナーとなる報告者（「施工者」）のメールアドレスを入力し、「この宛先へ依頼を送信する」をクリック。



● 「閉じる」をクリックするとキーコードのメール送信が完了し、以下のポップアップ画面が表示。⇒【8】へ。



## 【7】報告書提出 《「設計者」の入力分のみ》

●報告書フォームのうち、「設計者」が入力すべき箇所の入力が全て終われば、「提出」ボタンをクリックして日合連へ報告書を提出。(提出後も修正可能 ⇒【12】)

### 4、画像添付

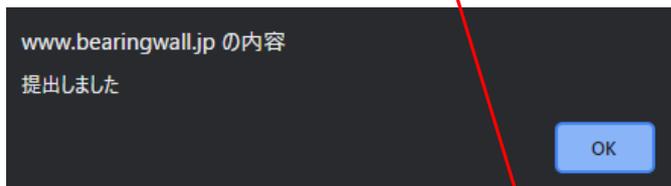
① 施工箇所の写真 及び ② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真を添付願います。  
※添付する画像のファイル名は、アップロード後に自動変換されます。拡張子は .jpg .png .pdf がアップロード可能。

添付項目	画像添付
① 施工箇所の写真	<a href="#">アップロード</a>
② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真	<a href="#">アップロード</a>



© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

●提出が完了すると以下のポップアップ画面が表示。



●入力漏れがあると、上記のポップアップ画面が現れず、報告書フォームに入力漏れ箇所が赤字表示されるので、再入力し、再度「提出」をクリック。⇒【5】へ。

●提出する前に入力を中断する場合は、「下書き保存」ボタンを使って入力内容を保存。

## 【8】キーコード送信メール

- 【6】のキーコード送信により、「施工者」あてに以下のメールが送信。
- 受信した「施工者」は、メール内の URL をクリック ⇒【9】へ。

[耐力壁資格管理] 実績報告書 作成のお願い

耐力壁資格管理 <info@jpma.jp>  
宛先 info@jpma.jp

返信 全員に返信 転送 ...

2021/09/09 (木) 11:41

info@jpma.jp 様

いつもお世話になっております。  
耐力壁資格管理サイトにて、日本合板工業組合連合会の日合連・設計者様が実績報告書を作成しました。  
実績報告書 URL へアクセスしキーコードを入力の上、報告書を追記・完成し、日合連あてに提出してください。

-----

【管理番号】 CR-●●●●  
【パートナー会社】 日本合板工業組合連合会  
【パートナー氏名】 日合連・設計者  
【パートナー種別】 設計者  
【キーコード】 I3DIJC8UEb4KDeZko4MhXh ⇒コピー&ペースト

実績報告書 URL  
<https://www.bearingwall.jp/member/report>

※ 上記パートナー情報と同じメールアドレスでログインしている場合は、一度ログアウトする必要があります。

-----

このメールは、自動応答メールにより配信しております。

-----

耐力壁資格制度(日本合板工業組合連合会)  
E-Mail [info@jpma.jp](mailto:info@jpma.jp)  
ホームページ <https://www.bearingwall.jp/>  
TEL 03-5226-6677  
FAX 03-5226-6678  
住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2丁目21番2号  
プライム水道橋8階

- 【6】でキーコードを送信した「設計者」あてにも、確認のため送信済のメールが届く。

[耐力壁資格管理] 実績報告書 作成のお願い

 耐力壁資格管理 <info@jpma.jp>  
宛先 info@jpma.jp

返信 全員に返信 転送 ...

2021/09/09 (木) 11:41

キーコード送信の手続きをさせていただき、ありがとうございました。  
パートナー様へ下記内容を送信いたしました。

---

[info@jpma.jp](mailto:info@jpma.jp) 様

いつもお世話になっております。  
耐力壁資格管理サイトにて、日本合板工業組合連合会の日合連・設計者様が実績報告書を作成しました。  
実績報告書 URLへアクセスしキーコードを入力の上、報告書を追記・完成し、日合連あてに提出してください。

---

【管理番号】 CR-●●●●  
【パートナー会社】 日本合板工業組合連合会  
【パートナー氏名】 日合連・設計者  
【パートナー種別】 設計者  
【キーコード】 I3DIJC8UEb4KDeZko4MhXh

実績報告書 URL  
<https://www.bearingwall.jp/member/report>  
※ 上記パートナー情報と同じメールアドレスでログインしている場合は、一度ログアウトする必要があります。

---

このメールは、自動応答メールにより配信しております。

---

耐力壁資格制度(日本合板工業組合連合会)  
E-Mail [info@jpma.jp](mailto:info@jpma.jp)  
ホームページ <https://www.bearingwall.jp/>  
TEL 03-5226-6677  
FAX 03-5226-6678  
住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2丁目21番2号  
プライム水道橋8階

**【9】キーコードを入力し、報告書フォーム(設計者入力済)を開く**

<https://www.bearingwall.jp/member/report>

- メールを受信した「施工者」は、メール記載の URL へログイン。
- なお、「設計者」と同じメールアドレスでログインしている場合は、一度ログアウトしてから、再度、「施工者」としてログイン。
- 報告書作成の手順の説明は「報告書作成の手順」をクリック ⇒【4-1】へ。
- メール記載のキーコードを、「キーコード」欄にコピー&ペースト。「キーコードを開く」をクリック。 ⇒【10】へ。

耐力壁資格者ページ

HOME 実績報告書

2

キーコード:  [キーコードを開く](#) [新規作成](#)

実績報告書は、設計者と施工者の両者で入力し、日合運あて提出して頂きます。設計者・施工者それぞれで入力箇所が異なります。本ページでは、設計者・施工者のそれぞれをパートナーと称します。実績報告書はキーコードによってパートナーで共有されます。詳しい使い方は下記「報告書作成の手順」をクリックしてください。

[報告書作成の手順](#)

実績報告書一覧

実績報告書 一覧

管理番号	工事請負契約日	工事竣工日	都道府県	所在地	工事名称	編集
CR-●●			東京都	千代田区神田三崎町 2		<a href="#">編集</a>
CR-●●	2021年08月01日	2021年08月29日	東京都	千代田区神田三崎町 2 - 2 1 - 2	実績報告テスト210830一部修正0831	<a href="#">編集</a>

**【10】**

## 【10】報告書フォームへの入力 《「施工者」の画面》



HOME 実績報告書

実績報告書一覧 実績報告書詳細

実績報告書詳細 (施工者用)

管理番号	CR-●●	提出年月日	自動入力
工事請負契約日	2021-08-01	工事竣工日 (工事完了日)	2021-08-31
工事名称	210902テスト		
所在地	1010061	東京都	
	千代田区神田三崎町	2-21-2	
設計者氏名		会社名	日合連登録番号
施工者氏名	日合連・施工者テスト	会社名	日本合板工業組合連合会
			日合連登録番号 BW●● ⇒自動入力

施工者  
入力箇所

設計者の  
未入力箇所  
や修正箇所  
を入力

### 1、設計者用チェック項目

検査項目	チェック
① 設計者の条件を満たしている (所定の講習会を受講した建築士、かつ日合連登録者)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
② 適用条件 (建物種類、階数、面積など) の範囲内の建物である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
③ 事前調査を入念に行い、補強する部分の周囲には部材の劣化がないことを確認した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 劣化有
→ ③で事前調査時に劣化が発見された場合には、適切に補修・交換等を指示した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
④ 補強後の耐震診断の上部構造評価点は1.0以上である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑤ 他の耐震補強壁等と併用する場合、基準耐力の上限値を超えないことを確認した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 該当無
⑥ H12建告第1460号に適合する柱頭・柱脚仕口接合部の補強をしよう設計した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
→ ⑥が実施できない場合、基礎仕様と接合強度に応じた低減を考慮した	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑦ 基礎は、基礎I又は基礎IIに相当する仕様である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑧ 厚さ24mmの構造用合板を張る補強壁の場合は、基礎IIに相当する仕様である	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 該当無
補足・連絡事項	<div style="border: 1px solid gray; height: 100px;"></div>

施工者  
入力箇所

2、施工者用チェック項目

検査項目	チェック
① 施工者の条件を満たしている（経験のある大工又は工務店社員、かつ日合連登録者）	○はい ○いいえ
② 事前調査時に劣化が認められた部位は、設計図書に従い適切に補修・交換等を実施した	○はい ○いいえ
③ 施工時に新たな劣化部位を発見した場合は、設計者に連絡し、適切に補修等を実施した	○はい ○いいえ
④ 補強に用いる構造用合板には、日本合板工業組合連合会傘下会社のJAS印が印字されている	○はい ○いいえ
⑤ 補強に用いる構造用合板の厚さは、12mmまたは24mmである	○12mm ○24mm ○その他
⑥ 構造用合板を留め付けるくぎは、JIS A5508に規定するCNくぎである	○はい ○いいえ
⑦ 受材、添え柱、胴つなぎ材など、補強に用いる木材は設計図書通りの寸法、本数である	○はい ○いいえ
⑧ 受材、添え柱、胴つなぎ材などを留め付けるくぎは、JIS A5508に規定するNくぎである	○はい ○いいえ
⑨ 柱頭柱脚仕口接合部に用いる金物は、設計図書通りの規格、個数である	○はい ○いいえ
⑩ 補強壁は、設計図書通りの仕様で、構造用合板、受材等、金物等を適切に施工した	○はい ○いいえ
補足・連絡事項	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

3、使用した補強壁の仕様（使用した補強壁の仕様ごとに、その概算の長さ（m）を記入してください）

補強壁の仕様	長さ（m）	補強壁の仕様	長さ（m）
① 合板12mm上下開口壁、両側柱大壁仕様	<input type="text"/> m	⑪ 合板12mm無開口壁、大壁仕様	<input type="text"/> m
② 合板12mm上下開口壁、両側柱真壁仕様	<input type="text"/> m	⑫ 合板12mm無開口壁、入隈大壁仕様	<input type="text"/> m
③ 合板12mm上下開口壁、間柱補強大壁仕様	<input type="text"/> m	⑬ 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	<input type="text"/> m
④ 合板12mm上下開口壁、間柱補強真壁仕様	<input type="text"/> m	⑭ 合板12mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	<input type="text"/> m
⑤ 合板12mm上下開口壁、柱間隔2P大壁仕様	<input type="text"/> m	⑮ 合板24mm無開口壁、大壁仕様	<input type="text"/> m
⑥ 合板12mm上下開口壁、柱間隔2P真壁仕様	<input type="text"/> m	⑯ 合板24mm無開口壁、入隈大壁仕様	<input type="text"/> m
⑦ 合板12mm上下開口壁、後施工柱大壁仕様	<input type="text"/> m	⑰ 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち仕様	<input type="text"/> m
⑧ 合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様1	<input type="text"/> m	⑱ 合板24mm無開口壁、真壁床勝ち600mm仕様	<input type="text"/> m
⑨ 合板12mm上下開口壁、後施工柱真壁仕様2	<input type="text"/> m		
⑩ 合板12mm上下開口壁、入隈大壁仕様	<input type="text"/> m		

●「施工者」は、①施工箇所の写真ファイル 及び ②耐震補強で使用した合板の JAS 印・メーカー名が見える写真ファイルをアップロード。

●拡張子は jpg .png .pdf がアップロード可能。ファイルサイズは4MB程度まで。

●①施工箇所の写真、②合板の板面の写真、それぞれ1ファイルしかアップロードできません。このため、複数の施工箇所がある場合、代表的な施工箇所 1 箇所の写真でも構いません。合板写真は、日合連傘下メーカーの製品を使用していることを確認するためのものであり、最低1枚あれば十分です。

4、画像添付

① 施工箇所の写真 及び ② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真を添付願います。  
※添付する画像のファイル名は、アップロード後に自動変換されます。拡張子は .jpg .png .pdf がアップロード可能。

添付項目	画像添付
① 施工箇所の写真	[アップロード]
② 耐震補強で使用した合板のJAS印・メーカー名が見える写真	[アップロード]

← 一覧に戻る
📄 下書き保存
🔍 キーコード送信
➡ 提出

© 2021 耐力資格管理データベース All rights reserved.

施工者  
入力箇所

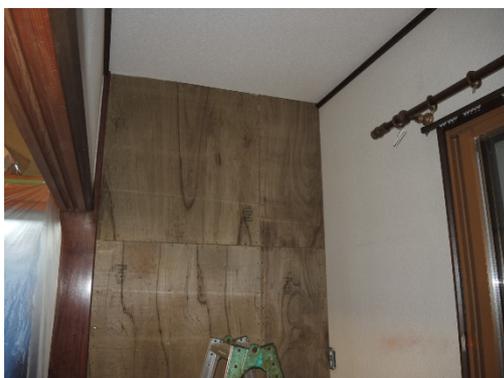
【11】

●報告書フォームのうち、「施工者」が入力すべき箇所の入力が全て終われば、「提出」ボタンをクリックして日合連へ報告書を提出。⇒【11】へ。

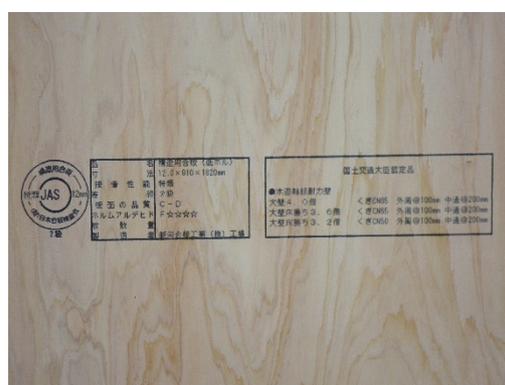
●提出する前に入力を中断する場合は、「下書き保存」ボタンを使って入力内容を保存。

### ●添付ファイルの例

#### ①施工箇所の写真の例



#### ②合板の板面の写真の例



**【11】**報告書提出 《「施工者」の入力分》

- 提出が完了すると以下のポップアップ画面が表示。(提出後も修正可能 ⇒[【12】](#))



- 入力漏れがあると、送信完了のポップアップ画面が現れず、報告書フォームに入力漏れ箇所が表示されるので、再入力し、再度「提出」をクリック。 ⇒[【10】](#)へ。

## 【12】提出した報告書の確認・修正

●報告書を提出すると、資格者ページに「実績報告書一覧」が表示される。修正が必要な報告書について「編集」をクリックし、実績報告書詳細画面へ。⇒【5】又は【10】

HOME 実績報告書

2

キーコード: 半角英数字

キーコードを開く

新規作成

ログアウト

耐力壁資格者ページ

実績報告書は、設計者と施工者の両者で入力し、日合連あて提出して頂きます。設計者・施工者それぞれで入力箇所が異なります。本ページでは、設計者・施工者のそれぞれをパートナーと称します。実績報告書はキーコードによってパートナーで共有されます。詳しい使い方は下記「報告書作成の手順」をクリックしてください。

報告書作成の手順

実績報告書 一覧

実績報告書 一覧

管理番号	工事請負契約日	工事竣工日	都道府県	所在地	工事名称	編集
CR-●●	2021年08月01日	2021年08月31日	東京都	千代田区神田三崎町2-2-1-2	210902テスト	編集
CR-●●	2021年08月01日	2021年08月29日	東京都	千代田区神田三崎町2-2-1-2	実績報告テスト210830一部修正0831	編集

© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

●実績報告書詳細画面で必要な修正を終えた後、「提出」ボタンをクリックして日合連へ報告書を再提出。

### 4、画像添付

① 施工箇所の写真 及び ② 耐震補強で使用了合板のJAS印・メーカー名が見える写真を添付願います。  
※添付する画像のファイル名は、アップロード後に自動変換されます。拡張子は .jpg .png .pdf がアップロード可能。

添付項目	画像添付
① 施工箇所の写真	アップロード
② 耐震補強で使用了合板のJAS印・メーカー名が見える写真	アップロード

← 一覧に戻る

下書き保存

キーコード送信

提出

© 2021 耐力壁資格管理データベース All rights reserved.

以上。